

PHV（プラグインハイブリッド自動車）の各種イベント等での展示について

渡島総合振興局商工労働観光課

（概要）

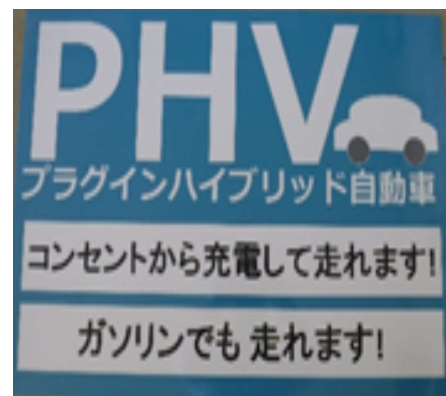
道では、次世代自動車の道内への導入促進のため、14振興局に蓄電・給電機能を有するPHV（プラグインハイブリッド自動車）を公用車として導入し利用するとともに、展示イベント等を通じて普及啓発を実施しています。

（特徴）

- 家庭用コンセント（渡島総合振興局車庫内では200V電源を整備）から充電でき、フル充電した場合、ガソリンを使わず電気だけで約68km走行可能
- 充電した電気を使い切っても、ガソリンでハイブリッド走行が可能
- 「移動する電源」として、家電製品への電力供給が可能（最大電力1,500W）
 - ①フル充電・満タンの場合、バッテリーのみの単純計算で、
蓄電池容量8.8kWh÷1,500W=5.87時間
 - ②バッテリー+ガソリンエンジンによる発電では、約2日間の給電が可能

（普及啓発用のイベント等での活用）

各市町で開催される様々なお祭り、環境関連イベント、防災訓練等災害時を想定した給電デモンストレーション等の場を活用して、次世代自動車の普及啓発をしていますので、ご協力をお願いします。



【ご相談窓口】

北海道渡島総合振興局産業振興部

商工労働観光課主査（産業おこし） 担当：長谷川、志村

直通：0138-47-9462

E-mail：hasegawa.takafumi@pref.hokkaido.lg.jp